（大正八年三月七日第三種郵便物認可）

磐城時報

三十日發行

一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

發行所　磐城時報社
印刷所　磐城時報社
印刷人　岡田弘成
編輯兼發行

市内三小學校計劃の新聞賣却映寫機購入事業

三校合せて千圓を突破

市内第一、第二、第三の三小學校が紀元二千六百年記念事業としたもので明年を以て一先づ打切るわけだが右計畫には映寫機に片寄留松氏選任された、尚評議委員は左の通り決定

青木公丸、吉田彌十郎、長谷川德次郎、木田雅風、長谷川好男、佐藤熊藏、佐藤唯之助、長谷川長太郎、鈴木壯平、滿山清四郎、佐藤康治、新妻吉重郎、鈴木光次、芳賀藏孝、吉田利右衛門、佐藤左馬之助、中村興八郎、豐田耕作、飯田友吉、菅波末吉、外山藤吉、田中岩次郎、佐藤榮喜、印南勝榮

五月開始、第三は同年一月開始監事十二名再選重任、理事一名の欠員は豐田美孝氏昇格、監事に片寄留松氏選任された、尚評議委員は左の通り決定

青木公丸、吉田彌十郎、長谷川德次郎、木田雅風、長谷川好男、佐藤熊藏、佐藤唯之助、長谷川長太郎、鈴木壯平、滿山清四郎、佐藤康治、新妻吉重郎、鈴木光次、芳賀藏孝、吉田利右衛門、佐藤左馬之助、中村興八郎、豐田耕作、飯田友吉、菅波末吉、外山藤吉、田中岩次郎、佐藤榮喜、印南勝榮

十六ミリ映寫機購入計畫は順調に進捗し

第一校は三百圓、第二校は三百五圓、第三校は五百八十七圓に達した、第一、第二は一昨年の奇附も漸減の傾向にあるので學校當局では各家庭に對し今一段の奮發を要望してゐる

新聞紙が高値に取引され兒童の

各種工業組合へ補助金を交付

銃後の工業發展を助長

平市の明年度豫算は各課の要求額も既に決定、伊藤助役の手で目下査定中であるが縣の指示により總体的に一割乃至五分減を余儀なくされたゝめ各課とも新規事業は全く見合せとなつたばかりでなく繼續事業工費も減額の余儀なきに至り各課とも明年度事業の繰り繰りを今から頭痛に病んでゐる始末である、就中産業課では長期建設下に於ける銃後産業の擴充は最も緊要であるとして種々の施設を考究中であつたが經費難のため遂に平鍛一時から同町小學校で開催、役員改選の結果組合長以下理事、

併し事變下にあつて物品統制に喘いでゐる各種工業組合に對しては適當の補助を必要とするので靴工業組合、染物加工業組合、家具木工組合等に新たに補助金を交付しその共同施設の擴充を圖り市内各種工業の躍進に拍車をかけることになつた

四倉信組總會

四倉信用販賣購買利用組合の第九千四百八十二回、差引未償還二千百七十六圓で第一年目は營業の趣旨不徹底が原因して約六十余圓の缺損を貸出し　件、一萬一千六百五十八圓、この內返濟額

平庶民金庫の擔保貸出し好績

一月中の貸出五千圓

平庶民金庫が多數組合員の要望に副つて昨年五月一日から倉庫と商品擔保貸出しを開始して以來、十二月末日まで第一年度八ケ月間の營業成績は

見るに至つた、然し最近商業界も擔保貸出しの利便を覺り、利用者急激に增加、一月に入つてから既に貸出し五千圓を超過するの狀態で、今年は相當の成績を收めるものと見られてゐる

この商品擔保貸出しは償還期を三ケ月とし、物品の性質に依つて評價の五割から最高八割までの金額を貸出すもので季節的に店舗の物品を替へる

性戀りぬ少年

釋放後また盜む

石川郡蓬田生れ大木德一（一八假名）は舊臘雜貨商助川留吉さん方から二圓二十五錢在中の手提金庫を盜んだ外同村で煙草、自轉車、毛布等を盜み二十九日平署に檢擧された

同人は十二月十三日まで平署で窃盜犯人として取調べを受けてゐたが微罪で釋放されその足で再び惡事に走つたもの

茨城縣の强盜容疑者

磐炭に潛伏中檢擧

相馬郡鹿島村橫山重好（三六）は茨城縣下の强盜事件容疑者として手配捜査中內鄉村磐城炭礦坑夫となつて潛伏中を二十八日夜平署高坂駐在春川巡査が檢擧、平へ二十九日水戸署鈴木刑事が來平身柄を引取つた

轢逃げ運轉手

市內古銀治町材木商早川重治さん方運轉手澤渡村上市萇生れ小島朝四郎（二六）は二十九日午後零時半ごろトラックを運轉古銀治町地內を疾走中、前方を通行中の好間村北好間石炭行商鈴木リキさん（四〇）を突き飛ばしリヤカーを大破した上リキさんの顏面に傷を負はせ逃走したが平署に檢擧

來月中に許可

準備急ぐ漁船保險組合

名濱港にあつた大時化大被害などの刺戟に依つて組合加盟者が豫想以上の數に上つてゐる、然し組合員と雖も設立認可後三ケ月以內に保險契約を履行せざれば組合員たるの資格を失ふことに成る

小學生の赤誠

四倉町

新町尋常六年生渡邊コトコさん（一三）は古錢五十錢を恤兵金として三十日四倉署へ寄託した

二町目區長決定

市內二丁目區長に中野庄吉氏、同代理星野久七氏が任命された

從軍馬慰靈塔

鹿島村で建立

鹿島村では今次聖戰に召され武勳を樹てゝ祖國に殉じた物言はぬ戰士從軍馬の慰靈塔を建立中であつたが出來上つたので來月十一日紀元節の佳辰をトし除幕式を擧げる

リヤカー泥

山形縣西村

山郡河出村小山田生れ板濱久七（三七）は二十八日夜江名町永崎布施倉吉さん方からリヤカー一臺を盜み二十九日神谷村で賣却せんとしてゐたところ平署員に夫自稱北海道長萬部生れ東峯俊雄（二八）は二十九日夜錢湯の歸り途同村內町で出會つた雜貨商鈴木市太郎さんに喧嘩を吹つかけ全治十日間の傷害を負はせ檢擧

天氣豫報

今晚は北の風晴後曇
明日は北西の風曇時々晴

五人組只飲み團

四倉町で被害數十件

四倉町に最近頻々として五人連れの無錢遊興團が現はれ被害續出するので四倉署で犯人嚴探中二十五日同町新町新武田屋方に五人連れの青年が登樓し十數圓の無錢飲食をして逃走したほかづれも假名一の仕業と判明したので檢擧、余罪を取調べ中

傷害

內鄉村磐城炭礦坑

莊嚴・戰線の元旦

市內仲町熊謙次郎氏弟　太田四朗君陣中便り

新年おめでたう存じます、夜降つて私こと出征以來元氣に活躍致し居りますから何卒御明けと共に銃劍の列が新を踏休心下さい、部隊の進擊戰鬪んで遙か皇居に禮拜した、嚴にも再度參加するの光榮に浴かなる君ケ代のラッパが眞白きすることが出來ました曠野に鳴り渡つた、將士の正月は流石に門松に日章旗をかざし新年の氣分十分でありました、然し一方には敵と對峙する戰友のあれば交互に歲

寫眞を一枚貰ひましたから御送り申上げます、おついでの折謙次郎兄にも見せて下さい

（磐橋元三郎氏宛）

全国連続長篇小説
福妻
内郷四家酒造店行商隊

釜屋商店
久
電九・九九番

塩豚
平市田町
三三三屋
電三二三

許可省藏大
家畜保護
共存共榮
断然群ヲ抜ク

一日一言

野澤武藏

純綿布配給の適正を期す

事變下に於ける國際收支を適合する目的の下に、政府は棉花の輸入を制限すると同時に國内に於ても綿織物には三割以上のス、フ等代用繊維混織を強制、更に物資需給調整を強化、昨年六月商工省令を以つて綿製品の卸販賣を禁止し、政府に於て國内在庫品の買上げを行つてゐたが、銃後生産力の維持伸張の見地より〝農山漁村工場、鑛山〟等の勞働者に對し特に配給することに決定、純綿販賣禁止案も半ケ年振りで漸やく一部解除されることに成つた

◇

然し政府の純綿布配給數は本縣内の割當僅か十萬反に過ぎず（内産業組合三割七分、呉服商六割三分）從つて配給範圍は前述の勞動者にして絶對的に純綿織物を必要とするものに限定され、縣から各市町村に購買券を配布、市町村は精密に調査を行つた上必要と認めた範圍内で購買券を交附することに成る、交附される購買券は

小巾木綿　一反
廣巾木綿　一点
足　袋　一足

の三種類に分れ、更に製品別に數種類に大別利用されることに成る

◇

茨城縣の或る都市では、縣から購買券を交附されるや、勞働者の請求數をそのまゝ受け入れ『俺の家は三人働いてゐるから三枚、お前の家は七人働いてゐるから七枚』と忽ちにして全部配附して問題を起した事實あるとか、購買券は原則として一戸當り一枚とし、然も一旦交附されたものを他人に譲渡使用することを禁じられてゐる、配給範圍の如きも前述の如く農山漁村勞働者、工場勞働者鑛山勞働者、土木建築勞働者交通勞働者、自由勞働者と制限され、商家に働くものは米屋の配達人とか、木炭屋の小僧など勞働する者でも認められ内在庫品の買上げを行つてゐたてゐない。

◇

平市内の配給を受ける該當者は八百人内外と豫定されてゐると聞くが、制限されてゐる純綿布は勞働者にとつて實物的な物品であるから、これが交附に當つて當局の愼重な調査に依つて適正を期せられんことを切に希むものである。

新文具御案内
マルトモ書店入荷品
セルロイド製
正札カード
名称　プライスカード
1.80より2.40
(1)文字鮮明体裁優美で商品を引立てゝ商店の品位を高めます
(2)數字の挿替自在で永く使用に堪えます
(3)置いてよく掛けてよく又如何なる種類の商品にも適合します
(4)セルカードは從來非常に高價でしたが本品は破格の安價であり結局は紙製よりもお徳であります
よき正札は商品を引立てるのみでなくお店の裝飾的意味に於ても大切な役目を果します
凡ゆる商品に適合する最も斬新で實用的な本品を御薦め致します

看護婦採用
一、採用人員　若干名
一、年　令　十八才より二十二、三才位迄
一、待　遇　本人面接の上
四倉町新町
額賀醫院
電話（四倉）四番

酒は……松竹梅より——
やき鳥　おでん　茶めし
お酒のあとに名代おけさめし
酒の店　味郷（みさと）
平市三田小路

食堂　喫茶　宴會
〝平〟市　コンパル　電六六六

……出前迅速……
御料理
〝むさとろ〟
さつき
平市紅小路　電四八八

整形外科
大河内醫院
電（平）五八八番

看護婦と家政婦
派出致します
平市南町
平看護婦會
會長　滑野キヨ
電話三〇七番

謹告
この度皆樣の御勸めにより家政婦會を設け會員を派出致させることになりましたから何卒御利用下さいませ
◎會員の業務
一、お手不足な御家庭のお手傳
一、病院等の患者への附添へ
會員募集
まじめでよく働ける御婦人を募ります。會員御希望の方は御來談下さい。（住込の便もあり）
磐城家政婦會
平市五丁目　産婆　猪狩かく方
電話四九一番

江戸前御好み
天婦羅雜
壽司　平三
天婦羅　小料理
天杵
電六七九

鑄物の代用品生る
セメント製マンホール　金貳圓ゟ各種
同　風窓　網　金四十錢ゟ各種
平市南町一二〇
發賣元　野内商會
電話一一番
燒土管在庫豐富

安田生命　保
日本共立火災　險
東京動産火災
平代理店　井上貞治郎
平市五町目　電話六六番

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を
取揃へました
是非
和久井屋へ
御越下さい

産科・婦人科
平市田町
◎入院隨時　井坂醫院
電話五五九番

公債・債券
賣買物一般
三井賣店
平市四丁目
電話六〇六番

内臟外科
エッキス光線
産婦人科
院長　安齋徹
醫學士　黒澤廣
平市田町（電話四五七番）
入院隨意
安齋醫院

耳鼻咽喉科
入院自炊の便あり
大和田醫院
平市南町（電話一〇七番）